

令和8年度実施 名古屋市公立学校 教員採用選考試験について

名古屋市教育委員会



申込受付期間

令和8年4月13日（月）から令和8年5月1日（金）まで

- この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
- インターネット申込の方法 → [p.10](#)へ
- インターネット申込ができない方 → [p.11](#)へ

試験日程

1次試験 令和8年6月13日（土）

2次試験 令和8年7月18日（土）・19日（日）

障害者特別選考試験・大学3年生等を対象とした選考試験等

- 「障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.18～20](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした選考試験」 → 別資料により実施 [p.21～23](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.24～26](#)へ

- ・名古屋市では、障害のある方の教員採用に積極的に取り組んでいます。
- ・試験日程や会場については、志願者数などの関係により一部変更する場合があります。
- ・採用予定人員については、4月中下旬に発表します。

1 趣 旨

○この選考試験は、令和9年度の名古屋市公立学校教員の採用にあたり、専門的な知識と幅広い教養を有し、教育に対する情熱と使命感をもち、健康な体と豊かな人間性を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を選考する資料とするために実施するものです。

2 基礎資格

- 次の全てに該当する人に限ります。
- (1) 地方公務員法第16条各号及び学校教育法第9条各号に該当しないこと。
 - (2) こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）第2条第8項に該当しないこと。（特定性犯罪前科がないこと。）
 - (3) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であること。
 - ・特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であり、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であること。
 - (4) 50歳未満（昭和52年4月2日以降に生まれた人）であること。
 - ・特例B-1①～⑥、D-1、D-2（[p.6](#)・[8](#)参照）に該当する人は、60歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた人）であること。

3 選 考

(1)選考区分 (p.29 参照) ・募集がない区分・教科もありますので、ご確認ください。

(2)選考方法

選 考 区 分	選 考 方 法		
	1 次 試 験	2 次 試 験	
① 高等学校教員	共通 ○小論文 ○総合教養	共通 ○口述 (個人面接1) (個人面接2) ※個人面接2では、 模擬指導を行う	
② 中学校教員			○実技 保健体育、家庭、英語
③ 小学校教員			○実技 音楽、美術、 保健体育、技術、 家庭、英語
④ 幼稚園教員			○幼稚園実技
⑤ 特別支援学校教員			○養護に関する実技
⑥ 養護教員			
⑦ 栄養教員			
	○専門「教科」		
	○専門「教科」		
	○専門「小学校全科」		
	○専門「幼稚園教育」		
	○専門「特別支援教育」		
	○専門「養護」		
	○専門「栄養」		

4 試験の特例について



あてはまる特例があれば、申請を！

※特例が認められた人は、試験の一部に「加点」や「免除」が適用されます。

**スポーツ・芸術等の分野で
優秀な成績を収めたことがある人**



4ページへ (特例A-1)



英会話能力に優れている人

4・5ページへ (特例A-2・A-3)

専修免許状を所有・取得見込の人

高等学校(理科)・中学校(理科・技術)・特別支援学校

5ページへ (特例A-4)

専修免許状

**名古屋市公立学校(園)で
常勤講師・非常勤教諭として任用された人**

6ページへ (特例B-1 ①～⑥)





**現在、名古屋市以外の国公立学校の本務教諭で
通算2年以上の任用期間がある人**

 7ページへ (特例B-2)

名古屋市において、子どもと関わる活動経験がある人
なごや教職インターンシップ、トワイライトスクール、部活動外部指導者等

 7ページへ (特例B-3・B-4)



大学院在学者及び進学者への特別措置を認められた人

 8ページへ (特例C)

**名古屋市公立学校(園)で本務教諭として勤務し、
介護を理由に退職した人**

 8ページへ (特例D-1)



**名古屋市公立学校(園)で本務教諭として勤務し、
子育てを理由に退職した人**

 8ページへ (特例D-2)

特別支援教育に関わる免許状を所有・取得見込の人
中・小学校の各志願者で特別支援学級担当の希望がある人

 9ページへ (特例E)



在学する大学等の推薦が得られた人

高等学校(理科・工業・商業)・中学校(理科・美術・技術)・特別支援学校

 9ページへ (特例F)

**令和7年度実施 名古屋市教員採用選考試験を受験し、
2次試験受験対象となった人**

 9ページへ (特例G)

2次試験
受験対象



- 次の特例に該当し、書類審査のうえ認められた人は、試験の一部に特例が適用されます。
- それぞれの特例について要件を満たしていれば、複数の特例を申請することが可能です。
- 特例の申請については、インターネットでの申込後、各特例の＜必要書類＞を郵送にて、名古屋市教育委員会教職員研修・採用課（教員採用担当）へ提出してください。（特例の申請はインターネット申込だけではできません。特例申請書類提出期限は5月1日（金）です。詳細は、[p.10](#)へ）
- 特例A実績証明書、特例B実績証明書は、名古屋市公式ウェブサイト（[p.30](#)参照）から印刷（A4判縦）してください。
- 「試験の特例」の可否については、書類審査のうえ6月1日（月）以降の受験票交付時にお知らせします。

特例 A（技能に関する特例）

特例 A 1～A 4 共通

重要
 ・「特例A－1実績証明書①」「特例A実績証明書②」は、各欄を記入し、裏面に実績や資格等を証明するもののコピーを貼付して、提出してください。



特例 A－1（スポーツ・芸術等）

＜対象＞	高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者
＜要件＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ア、イのいずれかの要件に該当する人 <ul style="list-style-type: none"> ア スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校での実績は除く） <ul style="list-style-type: none"> ・国際規模の競技会などに日本代表として出場した人（オリンピック大会、アジア大会、世界選手権大会等、競技的内容をもつ世界レベルのスポーツ大会に日本代表として出場した人） ・文部科学省、（公財）日本スポーツ協会又はその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の優秀な成績を収めた人 イ 芸術等の分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校での実績は除く） <ul style="list-style-type: none"> ・国際レベルのコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた人 ・全国レベルのコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた人
＜特例内容＞	<ul style="list-style-type: none"> ○1次試験の「専門」の免除 <ul style="list-style-type: none"> ・希望する選考区分の校種、教科との関連性を検討して審査をします。
＜必要書類＞	<ul style="list-style-type: none"> ○「特例A－1実績証明書①」及び「実績等を証明するもののコピー」 ・実績の中で最も上位と自分が判断したものを貼付してください。団体の場合は、その団体に所属していることが確認できる資料も必ず貼付してください。

特例 A－2（小学校における英会話能力）



＜対象＞	小学校教員の志願者							
＜要件＞	<ul style="list-style-type: none"> ○英会話能力に優れ、英語免許を所有又は令和9年3月31日までに取得見込の人、若しくは次のいずれかに該当する人 							
	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/S&W
	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。 							
＜特例内容＞	<ul style="list-style-type: none"> ○1次試験の専門「小学校全科」の成績に加点 ・併願する場合、その選考区分の「専門」の成績には加点しません。 							
＜必要書類＞	○「特例A実績証明書②」及び「実績等を証明するもののコピー」							

特例 A - 3 (英会話能力)

<対 象>	高等学校 (英語)・中学校 (英語)・小学校・特別支援学校教員の各志願者							
<要 件>	○英会話能力に優れ、次のいずれかに該当する人							
	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/S&W
	180 以上	1 級以上	1350 以上	7.0 以上	375 以上	800	95 以上	1845 以上
	・TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。							
<特例内容>	○1次試験の「専門」の免除 ・教科「英語」の希望者は、1次試験の「専門」に加えて、2次試験の実技「英語」も免除します。 ・高等学校 (英語)・中学校 (英語)・小学校・特別支援学校以外の選考区分と併願する場合、対象とならない選考区分の「専門」・「実技」は免除しません。							
<必要書類>	○「特例A実績証明書②」及び「実績等を証明するもののコピー」							

特例 A - 4 (専修免許状)

<対 象>	高等学校 (理科)・中学校 (理科・技術)・特別支援学校教員の各志願者	
<要 件>	<p>○次の免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込の人 ・ただし、申請する専修免許状の選考区分・教科等を第1希望として志願する人に限る。 (併願も可)</p> <p>①高等学校教諭専修免許状 (理科)・中学校教諭専修免許状 (理科) ②中学校教諭専修免許状 (技術) ③特別支援教育に関わる以下のいずれかの専修免許状 ・特別支援学校教諭免許の「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」のうち、1領域以上が記された専修免許状 ・盲学校教諭専修免許状 ・聾学校教諭専修免許状 ・養護学校教諭専修免許状</p>	
<特例内容>	○1次試験の「専門」の免除 ・他の選考区分・教科と併願する場合、申請する専修免許状の選考区分・教科以外の「専門」は免除しません。	
<必要書類>	○「特例A実績証明書②」及び「実績等を証明するもののコピー」	

特例 B (経歴・経験に関する特例)

特例 B - 1 ①~⑥ (常勤講師・非常勤教諭) 共通 ※①~⑥いずれか 1 つのみ申請可能

<対 象>高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

重要

- ・各欄を記入し所属長が証明した、特例 B - 1 ①~⑥に応じた実績証明書の提出が必要です。
- ・任用期間がその月に 1 日でもあれば、1 か月分と算定し、12 か月分で 1 年とします。
- ・特例 B - 1 ①~⑥が認められた人は、60 歳未満 (昭和 42 年 4 月 2 日以降に生まれた人) まで受験が可能です。
- ・要件の期間内において、常勤講師として任用された期間を非常勤教諭として任用された期間とみなして、非常勤教諭の任用期間と合算することができます。

常勤講師を対象とした特例	特例 B - 1 ① (常勤講師 3 年以上)	
	<要件>	○名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和 3 年度から令和 8 年度(令和 8 年 5 月 31 日まで)において、任用期間が通算 3 年(36 か月)以上ある人
	<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」・「専門」の免除
	<必要書類>	○「特例 B - 1 ①実績証明書」(所属長の証明が必要)
	特例 B - 1 ② (常勤講師 2 年以上)	
	<要件>	○名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和 3 年度から令和 8 年度(令和 8 年 5 月 31 日まで)において、任用期間が通算 2 年(24 か月)以上ある人
	<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」に加点・「専門」の免除
	<必要書類>	○「特例 B - 1 ②実績証明書」(所属長の証明が必要)
	特例 B - 1 ③ (常勤講師 1 年以上)	
	<要件>	○名古屋市公立学校(園)に常勤講師として任用され、令和 3 年度から令和 8 年度(令和 8 年 5 月 31 日まで)において、任用期間が通算 1 年(12 か月)以上ある人
	<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」・「専門」の成績に加点
	<必要書類>	○「特例 B - 1 ③実績証明書」(所属長の証明が必要)
非常勤教諭を対象とした特例	特例 B - 1 ④ (常勤講師開始)	
	<要件>	○令和 8 年 5 月 1 日(申込締め切り日)までに、名古屋市公立学校(園)において常勤講師として令和 8 年度の勤務を開始する人
	<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」の成績に加点
	<必要書類>	○「特例 B - 1 ④実績証明書」(所属長の証明が必要)
	特例 B - 1 ⑤ (非常勤教諭 2 年以上)	
	<要件>	○名古屋市公立学校(園)に非常勤教諭として任用され、令和 3 年度から令和 8 年度(令和 8 年 5 月 31 日まで)において、任用期間が通算 2 年(24 か月)以上ある人
	<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」の免除
	<必要書類>	○「特例 B - 1 ⑤実績証明書」(所属長の証明が必要)
	特例 B - 1 ⑥ (非常勤教諭 1 年以上)	
	<要件>	○名古屋市公立学校(園)に非常勤教諭として任用され、令和 3 年度から令和 8 年度(令和 8 年 5 月 31 日まで)において、任用期間が通算 1 年(12 か月)以上ある人
<特例内容>	○1 次試験の「総合教養」の成績に加点	
<必要書類>	○「特例 B - 1 ⑥実績証明書」(所属長の証明が必要)	

特例B-2（本務教諭）



重要

・高等学校・中学校・小学校の各志願者が、特例B-2を申請する場合は、幼稚園を併願できません。

<対 象>	高等学校・中学校・小学校・特別支援学校・養護教員の各志願者
<要 件>	○現在、名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務しており、令和8年5月1日（申込締め切り日）までに本務教諭の任用期間が通算2年以上ある人 ※本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
<特例内容>	○1次試験の免除
<必要書類>	○「特例B-2実績証明書」（所属長の証明が必要） ○学校保管の履歴書の写（コピーしたもの。在職証明や勤務記録カード等も可）

特例B-3（なごや教職インターンシップ）

重要

・特例B-3の申請は1度しかできません。ただし、前年度、大学3年生等を対象とした選考試験で特例B-3を申請した場合は、翌年度にも申請することができます。

・特例B-3の申請の有効期間は、大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度までとします。

<対 象>	高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者
<要 件>	○なごや教職インターンシップの活動が、令和2年度から令和7年度の間において、1年間に30回以上、又は2年間に50回以上ある人 ・ただし、令和2年度を活動期間に含める場合は、1年間に20回以上、又は2年間に40回以上ある人
<特例内容>	○1次試験の「総合教養」・「小論文」の成績に加点
<必要書類>	○「特例B-3実績証明書」及び「なごや教職インターンシップ活動記録票」の原本 ・「特例B-3実績証明書」の裏面に、所属長の証明がある「なごや教職インターンシップ活動記録票」の原本を貼付してください。

特例B-4（名古屋市における子どもと関わる活動）

重要

・中学校・小学校の各志願者が、特例B-4を申請する場合は、高等学校・幼稚園と併願できません。

・活動（任用）期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定し、12か月分で1年とします。

・特例B-4は、それぞれの活動（任用）期間を合算することができます。（重なっている期間の合算はできません。）



<対 象>	中学校・小学校・特別支援学校・養護教員の各志願者
<要 件>	○名古屋市において、令和3年度から令和8年度（令和8年5月31日まで）に、下の活動（任用）期間が通算1年（12か月）以上ある人 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイライトスクール・トワイライトルームにおいて、運営指導者、子ども指導員、地域協力員（「AP」）、体験活動講師、学生ボランティアの活動をしている人 ・部活動外部指導者（部活動外部顧問を含む）、名古屋市における土・日曜日のクラブ活動指導者、名古屋市立小学校における新たな運動・文化活動指導者、スクール・サポート・スタッフ、名古屋市児童相談所「あそびっこ」、母語学習協力員、名古屋市民おんたけ休暇村キャンプカウンセラー、フレンドリーユース、学習支援事業学習サポーター、児童養護施設学習支援ボランティア、土曜学習いきいきサポーター、発達障害対応支援員、子ども会ボランティアサークル </div>
<特例内容>	○1次試験の「総合教養」の成績に加点
<必要書類>	○「特例B-4実績証明書」（所属長・所属団体の証明が必要） ・土曜学習いきいきサポーターは、活動回数が12回以上必要です。ただし、令和2年度、令和3年度に活動を予定していた人は、活動回数を8回以上とします。

特例 C (大学院在学者及び進学者への特例)



重要

- ・必要書類の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ・「合格」した選考区分・教科の募集がない場合は、特例Cは無効となります。
- ・大学院在学者及び進学者への特別措置を希望し、「合格」を辞退した場合、その後の進学状況等に変更が生じても、「合格」の辞退を取り消すことはできません。

<対象>	中学校・小学校教員の各志願者
<要件>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学院での修学を理由に「令和6年度実施」又は「令和7年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」において、中学校教員又は小学校教員の区分での「合格」を辞退し、次の要件を全て満たす人 <ul style="list-style-type: none"> ・令和9年3月31日までに大学院修士課程を修了見込であること ・令和9年3月31日までに「令和6年度実施」又は「令和7年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科の専修免許状を所有又は取得見込であること ・「令和6年度実施」又は「令和7年度実施」の「名古屋市公立学校教員採用選考試験」で「合格」した選考区分・教科に出願すること
<特例内容>	○2次試験の口述（個人面接1・個人面接2）のみで選考試験を実施
<必要書類>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学院修了（見込）証明書の原本 ○対象者に送付した「大学院在学者及び進学者への特別措置決定通知書」の原本

特例 D (介護・子育てに関する特例)

特例 D-1 (介護)、D-2 (子育て) 共通

<対象>高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者

重要

- ・退職時と同一校種、同一教科での出願に限ります。
- ・出願時に、退職日から6年以内の人が対象です。
- ・特例D-1、D-2が認められた人は、60歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた人）まで受験可能です。
- ・必要書類の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ・募集のない区分の出願はできません。



特例 D-1 (介護)

<要件>	○名古屋市公立学校（園）に本務教諭として勤務し、令和2年3月31日以降に、介護を理由に退職した人 ※本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
<特例内容>	○2次試験の口述（個人面接1・個人面接2）のみで選考試験を実施
<必要書類>	○「介護理由退職者証明書」

特例 D-2 (子育て)

<要件>	○名古屋市公立学校（園）に本務教諭として勤務し、令和3年3月31日以降に、子育てを理由に退職した人 ※本務教諭とは、採用試験を経て採用された正規教員を指します。
<特例内容>	○2次試験の口述（個人面接1・個人面接2）のみで選考試験を実施
<必要書類>	○「子育て理由退職者証明書」



特例 E (特別支援教育に関する特例)



重要

- ・必要書類の左下欄外にインターネット申込の際の申請番号を記入し、提出してください。
- ・中学校・小学校の各志願者が、特例Eを申請する場合は、高等学校・幼稚園と併願できません。

<対象>	中学校・小学校教員の各志願者で特別支援学級担当の希望がある志願者
<要件>	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育に関わる次のいずれかの免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込の人 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校教諭免許の「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」のうち、1領域以上が記された普通免許状 ・盲学校教諭免許状 ・聾学校教諭免許状 ・養護学校教諭免許状
<特例内容>	○1次試験の「総合教養」の免除
<必要書類>	○該当する免許状の写し又は免許状取得見込証明書の原本

特例 F (大学等推薦に関する特例)



重要

- ・詳細は、各大学のご担当者に確認してください。
- ・大学からの提出書類のほか、志願者本人のインターネットによる申込が必要となります。
- ・特例Fを申請する場合は、他の選考区分と併願できません。(例) 高等学校(理科)と中学校(理科)は併願できません。

<対象>	高等学校(理科・工業・商業)・中学校(理科・美術・技術)・特別支援学校教員の各志願者
<要件>	<ul style="list-style-type: none"> ○次の要件を全て満たす人 <ul style="list-style-type: none"> ・在学する大学等の学長又は学部長の推薦が得られた人 ・名古屋市教員として勤務することを第一志望とし、選考試験実施翌年度の採用を希望する人 ・受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院、教職大学院を含む)に出願時に在籍し、令和9年3月31日までに卒業(修了)見込である人
<特例内容>	○1次試験の免除
<必要書類>	○推薦書(大学が作成し、送付すること)

特例 G (昨年度2次試験受験対象者への特例)

2次試験
受験対象



重要

- ・この特例の適用は、令和8年度実施の採用選考試験の1回限りとします。
- ・インターネットで申込をする際、令和7年度実施の採用選考試験の選考番号の入力が必要です。
- ・令和7年度実施の採用選考試験の2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和8年度に採用予定がない場合は、特例Gは申請できません。
- ・令和7年度実施の採用選考試験で特例Gが適用され2次試験受験対象となった人は、令和8年度実施の採用選考試験で特例Gを申請できません。
- ・大学3年生等を対象とした選考試験では、特例Gは申請できません。

<対象>	高等学校・中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校・養護・栄養教員の各志願者
<要件>	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験の1次試験を受験し、2次試験受験対象となった人 ○令和7年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験の2次試験受験対象となった選考区分・教科に出願すること
<特例内容>	<ul style="list-style-type: none"> ○1次試験の免除 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に2次試験の実技「英語」の免除を認められた人は、令和8年度も同様に免除とする。

5 申込手続

○申込は、インターネットで行ってください。

○事情によりインターネット申込ができない方→[p. 11 参照](#)

利用環境

○インターネットに接続できるパソコンと電子メールアドレスのほか、受験票を印刷するためにプリンターと「Adobe Reader」が必要となります。「Adobe Reader」は、以下のページから無料でダウンロードすることができます。
<http://get.adobe.com/jp/reader/>

- ・受験票の印刷は、A4判の普通紙で行ってください。
- ・使用されるパソコンの機種や環境等により利用できない場合があります。

(1) 受付期間

○令和8年4月13日（月）～ 令和8年5月1日（金） ※ここまでに申込が完了したもののみ有効

- ・必ず期間内に申込を完了させてください。申込が完了すると、それをお知らせする電子メールがすぐに届きます。
- ・システム管理等のため、システムの運用を予告なく停止、休止等する場合がありますのでご了承ください。
- ・使用されるパソコンや通信回線上の障害等によるトラブルについては一切責任を負いかねますので、期限に余裕をもって申し込んでください。

(2) アクセス及び申込方法



- ・左の二次元コードを読み取るか、名古屋市電子申請サービス (<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>) にアクセスし、キーワード検索で「教員採用」と入力してください。
- ・「令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験申込」をクリックし、順次画面の指示に従ってください。（「一般・令和8年度の大学3年生等用」と「今年度の2次試験受験対象者、特例B-2・F・G申請者用」の2種類の入口がありますので、必ず該当する方の入口から申請してください。）
- ・詳しくは、名古屋市電子申請サービスの画面や電子メールの指示に従ってください。

- ・ご自身が登録したメールアドレスとパスワードは、申込の際や受験票を交付するときに必要となりますので、必ず書き留めておいてください。
- ・送付された電子メール等は印刷する等、確実に保存してください。

特例の申請方法

○インターネット申込後、必要書類に「申請番号」と必要事項を記入し、名古屋市教育委員会教職員研修・採用課（教員採用担当）まで郵送にて提出してください。

- ・郵送の際は、角形2号封筒（332×240 mm）の表に、「特例申請書類在中」と朱記し、必ず「簡易書留」を利用してください。書類は折り曲げないでください。
- ・申請する特例一つにつき、実績証明書を一枚ずつ提出してください。

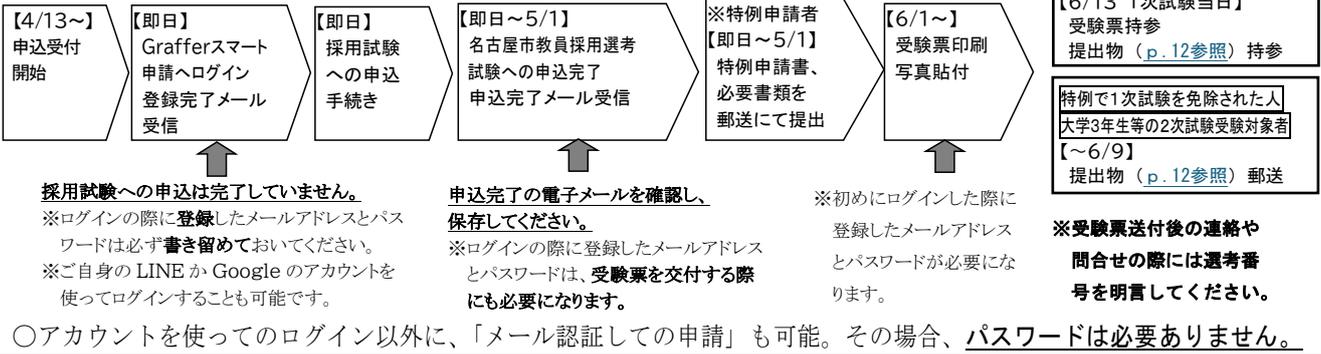
○特例申請書類提出期限：5月1日（金）の消印があるものまで有効

(3) 受験票の交付



- ① 6月1日（月）以降に送付される電子メールを確認し、電子メールの記載内容に従って「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、受験票及び特例結果通知書（特例結果通知書は、特例を申請した方のみ）を印刷（A4判横）してください。
- ② 6月5日（金）までに電子メールが届かない場合は、名古屋市公式ウェブサイト（[p. 30 参照](#)）に掲載している「電子申請についてのQ&A」Q9の手順に従ってください。
- ③ 受験票は必ず写真を貼付し、選考番号、受験会場等を確認したうえで、大切に保管し、試験当日（1次試験、2次試験）に持参してください。（写真がないと受験できません。）

○フローチャート（申込から1次試験までの流れ）



インターネット申込ができない方

- ・事情によりインターネット申込ができない場合は、郵送又は持参による申込となります。この場合には、あらかじめ、紙の「申込書」が必要となります。以下の「請求手続き」に従って請求してください。

（名古屋市教育委員会教職員研修・採用課（教員採用担当）まで直接お越しいただいても構いません）

郵送による請求手続き

- ・返信用封筒（角形2号封筒 332×240mm）に320円の郵便切手を貼り、受験者の宛先と郵便番号を明記してください。請求用封筒の表に「申込書希望」と朱記し、返信用封筒を同封して郵送にて請求してください。

請求期間 4月1日（水）～4月10日（金）の消印有効 ・受付期間に間に合うように請求してください。

申込受付期間 4月13日（月）～5月1日（金）の消印有効

申込受付時間 午前9時～午後5時まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

【申込書請求先及び申込書提出先】

〒456 - 0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6-14

名古屋市教育委員会教職員研修・採用課（教員採用担当）

- ・郵送で申し込んだ場合、受験票の交付も郵送となります。詳しい案内は申込書に同封します。

6 1次試験の期日、会場及び内容

(1) 期 日

令和8年6月13日（土）

(2) 会 場

中京大学名古屋キャンパス（名古屋市昭和区八事本町101-2）

(3) 試験日程・内容 ※中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」は共通です。

	内 容	対 象
8:20～9:00	受 付	全 員
9:05～9:25	受験上の注意、書類提出	全 員
9:40～10:30	小 論 文	全 員
10:50～11:30	総 合 教 養	全 員
11:50～12:50	専門「小学校全科」	小 学 校
	専門「教科」	高等学校（地理・歴史、工業、商業）、 特別支援学校、養護教員、栄養教員
12:50～13:40		昼 食
13:40～14:40	専門「教科」	幼稚園、中学校、 高等学校（地理・歴史、工業、商業を除く）

(4) 1次試験日（6月13日）に提出するもの

・詳しくは [p.15~17](#) の「教員採用選考試験Q&A」をご覧ください。

①自己アピールシート

- ・名古屋市公式ウェブサイト（[p.30 参照](#)）から印刷（A4判縦：両面印刷）してください。
選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。
- ・現在、国公立学校に、本務教諭として勤務中の人は、学校保管の履歴書の写（コピーしたもの。在職証明書や勤務記録カードなども可。）に所属長の原本証明をしたものを自己アピールシートと一緒に提出してください。※特例B-2の申請時に提出している人は、提出する必要はありません。

②免許状証明書

ア 原本の写し（白黒コピーしたもの※カラーコピー不可）

イ 授与証明書の原本（免許状を発行した教育委員会の証明書）

ウ 取得見込証明書の原本（大学が発行するもの） のいずれか。

- ・免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写（コピーしたもの）を添付してください。

③大学及び大学院の卒業・修了（見込）証明書の原本

- ・二つ以上の大学、又は学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了（見込）証明書が必要です。
- ・「学位記」は不可ですので、ご注意ください。

④返信用封筒

・宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、180円の郵便切手を貼った角形2号封筒（332×240mm、テープ付）

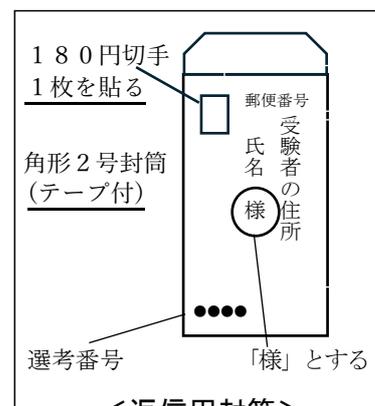
・宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。

（住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所）

・「令和7年度実施 大学3年生等を対象とした選考試験で2次試験受験対象となった人」「特例B-2、特例C、特例D-1、D-2、特例F、特例Gが認められた人」は、受験票で選考番号を確認のうえ、上の①~④の書類を6月9日（火）までに名古屋市教育委員会教職員研修・採用課（教員採用担当）まで簡易書留で郵送してください。

・選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考や採用関係事務以外の目的で使用しません。

・改姓の場合や勤務先、住所、電話番号など報告事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。



(5) 1次試験の選考結果通知について

- 受験者全員に令和8年7月中旬に通知（郵送）します。
名古屋市公式ウェブサイト（[p.30 参照](#)）でも発表します。

(6) その他

- 「総合教養」「専門」は、マークシート方式で実施します。
HB若しくはBの鉛筆等とプラスチック消しゴムを用意してください。
- 上着やネクタイの着用の必要はありません。
- 試験会場内で携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、コンピュータ、タブレット端末等の通信機能を有する電子機器を使用することは認めません。

7 2次試験について

○ 2次試験受験対象となった人に実施します。

期 日	内 容	対 象 区 分(教 科)
7月18日(土)	口述(個人面接1・個人面接2)	全 選 考 区 分
	「音楽実技」	中学校教員(音楽)
	「美術実技」	中学校教員(美術)
	「保健体育実技」	中学校・高等学校教員(保健体育)
	「技術実技」	中学校教員(技術)
7月19日(日)	「家庭実技」	中学校・高等学校教員(家庭)
	「英語実技」	中学校・高等学校教員(英語)
	「幼稚園実技」	幼稚園教員
	「養護に関する実技」	養護教員

8 選考結果通知等

(1) 最終選考方法と選考結果の通知について

○ 1次試験及び2次試験の結果並びに提出書類を総合して最終選考をします。最終的な合格・補欠・不合格の決定を、2次試験受験者へのみ、令和8年8月下旬に通知(郵送)します。なお、名古屋市公式ウェブサイト([p.30 参照](#))でも発表します。

- ・合格：令和9年4月1日付で採用します。
- ・補欠：令和9年12月末日までの間で、欠員状況等に応じ、採用されることがあります。
- ・不合格：1次、2次試験結果の総合判定により不合格となった人で、採用されません。

○ 令和7年度実施 大学3年生等を対象とした選考試験で2次試験受験対象となった人、特例Gが認められた人については、令和7年度実施の1次試験及び令和8年度実施の2次試験の結果並びに提出書類を総合して最終選考をします。

(2) 大学院在学者及び進学者への特別措置

○ 「令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」において小学校教員又は中学校教員の区分で合格した人の中で、令和9年度に大学院(教職大学院を含む。以下同じ)に進学又は在学を理由として採用を辞退した人が、次のア～ウの要件を全て満たした上で、下に示す【特例が適用される「名古屋市公立学校教員採用選考試験」】に、令和8年度と同一の選考区分・教科で出願した場合は、2次試験の口述(個人面接1・個人面接2)のみで選考試験を実施します。

ア 大学院での修学を理由に、令和8年12月18日(金)までに名古屋市教育委員会に申し出た上で「令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」の合格を辞退すること。

イ 令和9年度に大学院で修学すること。

ウ 下に示す期限までに、大学院修士課程を修了見込であり、かつ「令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」で合格した区分・教科の専修免許状を所有又は取得見込であること。

- ① 大学院在学者…令和10年3月31日まで
- ② 大学院進学者…令和11年3月31日まで

○ 【特例が適用される「名古屋市公立学校教員採用選考試験」】

- ① 大学院在学者…「令和9年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」
- ② 大学院進学者…「令和10年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験」

(3) 選考結果の情報提供について

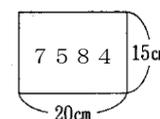
- 1次試験及び最終選考で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。
 - ・1次試験不合格者には「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」
 - ・最終選考不合格者には1次試験の「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」及び2次試験の「内容別評定」

(4) その他

- 校種ごとの教員必要数の関係から、他の校種に採用されることもあります。
- 令和9年3月31日までに大学（又は短期大学）を卒業できない場合、該当する教員免許状を取得できない場合、合格種免許状の期限が切れている場合等、令和9年度採用対象者が採用時に勤務できない事態が生じた場合には、合格は取り消しとなります。
- 選考結果の通知前の問合せには、応じられません。
- 申込時に報告した内容から変更があった場合は、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。報告すべき内容に漏れがあったり、報告内容に虚偽があったりした場合等は、本市採用選考試験の受験及び選考結果を無効とします。

9 実技試験（2次試験で実施）

○中学校音楽	ピアノ演奏 歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲は、モーツァルトのソナタ「K. 283 第1楽章」又は、ベートーヴェンのソナタ「Op. 49. No2 第1楽章」でいずれか1曲を自ら選択して演奏します。 ・自由曲は任意の1曲です。課題曲・自由曲の楽譜は各自持参してください。 ・次の中学校教材の中からいずれか1曲を自ら選んで伴奏しながら視唱します。楽譜は各自持参してください。 「赤とんぼ」「夏の思い出」「浜辺の歌」「帰れソレントへ」 ※「帰れソレントへ」は原語又は日本語とします。
○中学校美術	水彩画	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具（アクリル絵の具も可）、筆（大・中・小）、パレット、鉛筆（数本）、消しゴム、筆洗、筆をぬぐう布・雑巾、のりを各自持参してください。
○中学校・ 高等学校 保健体育	ハードル走 マット運動 バスケットボール なわ跳び運動	<ul style="list-style-type: none"> ・受験に適したゼッケンをつけた服装、シューズ（ひも付きの屋内用）を各自持参してください。（素足での実技は厳禁） ・ゼッケンは右図のように、各自が用意した白布に選考番号を黒色で明記し、胸と背に縫いつけてください。
○中学校技術	木工	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の加工をします。さしがね、両刃のこぎり、平かんな、両口げんのうを各自持参してください。また、実技に適した服装・履き物を各自持参してください。
○中学校・ 高等学校 家庭	衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・縫い針、まち針、指ぬき（必要な人）、糸通し（必要な人）、針山、糸切りばさみ、裁ちばさみ、ものさし、又は方眼定規、チャコ（チャコペンシル、チャコペン等も可）を各自持参してください。
○中学校・ 高等学校 英語	英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を読み、それに関して英語で質疑応答します。また、教育に関する話題について英語で質疑応答します。各自持参するものは特にありません。
○幼稚園実技	ピアノ演奏 歌唱 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・標準バイエルピアノ教則本の中の、「89番」・「97番」のいずれか1曲を自ら選んで演奏します。楽譜は各自持参してください。 ・幼児向きの曲（自由選択）を1曲と、課題曲（「走るのだいすき」・「空にらくがきかきたいな」のいずれか1曲を自ら選択）を伴奏しながら歌います。楽譜は各自持参してください。 ・幼児向きの曲（自由選択）を歌いながら表現します。 ・屋内用シューズを各自持参してください。
○養護に関する 実技	応急処置 保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置の実技と保健指導を行います。各自持参するものは特にありません。



<インターネット申込について>

Q 1 どのような手順で申込を進めるとよいですか？

A 資料 [p. 10](#)、又は名古屋市公式ウェブサイト ([p. 30 参照](#)) に手順を掲載していますので、そちらをご覧ください。(ウェブサイトに掲載している「電子申請についてのQ&A」もご参照ください。)

令和8年度実施の申請より、「一般・令和8年度の大学3年生等用」と「今年度の2次試験受験対象者、特例B-2・F・G申請者用」の2種類の入口を用意していますので、必ず該当する方の入口から申請してください。

Q 2 登録したメールアドレスを申込後に変更することはできますか？

A 変更できません。登録したメールアドレスは受験票を交付する際に必要となるため、申込後はメールアドレスを変更しないようにしてください。

Q 3 昨年度、大学3年生等を対象とした選考試験を受け、今年度の2次試験受験対象者となりました。今年度も申込をする必要がありますか？

A 2次試験受験対象となっている選考区分・教科で申込をする必要があります。その際、昨年度の選考番号が必要となりますので、昨年度の選考結果通知をご準備ください。

<申込内容について>

Q 1 併願を考えているのですが、どの校種が併願できるのですか？

A 同じ時間帯の試験がなければ併願可能です。[p. 27](#)をご覧ください。ただし、併願した場合(中学校と高等学校の同一教科を併願した場合を除く)は、第2希望の専門試験を受ける必要があります。また、希望する特例によっては、併願できない場合があります。[p. 4～9](#)をご覧ください。

Q 2 「免許状の修了確認期限」は、どのように確認すればよいですか？

A 平成21年4月1日以降に授与された免許状には有効期間の満了の日が明記されています(※有効期限が令和4年7月1日以降の場合は、期限がない免許に切り替わっています)。それ以前に授与された免許状をお持ちの方は、文部科学省のホームページ(<https://www.mext.go.jp/>)等で確認してください。

Q 3 複数の免許を異なる時期に取得しました。修了確認期限は、どの免許のものを入力すればよいですか？

A 複数の免許を異なる時期に取得した場合、修了確認期限は個々の状況により異なります。受験者本人で、文部科学省又は免許状が発行された都道府県教育委員会に確認し、正確に入力してください。

Q 4 免許が失効していないか心配なのですが、確認方法はありますか？

A 現在お持ちの免許の有効期限が令和4年の7月1日以降の場合は、期限がない免許に切り替わっています。それ以外の場合は、免許状が発行された都道府県教育委員会にお問い合わせください。

<特例申請について>

Q 1 特例A-1に該当する実績がいくつもあるのですが、どれを申請すればよいですか？

A 実績の中で、自分が最も上位と判断されたもので申請してください。

Q 2 特例A-1の受賞が団体のため、個人に証明するものがないときはどうすればよいですか？

A 賞状のコピーやその当時のプログラム、新聞記事などを貼付してください。ただし、必ず本人が所属していることが確認できる資料に限ります。

Q 3 高等学校や幼稚園を受験する場合、特例を申請することはできますか？

A 申請ができる特例は、特例A-1、A-3(高等学校(英語)のみ)、A-4(高等学校(理科)のみ)、特例B-1①～⑥、B-2(高等学校のみ)、B-3、特例D-1、D-2、特例F(高等学校(理科・工業・商業))、特例Gです。

Q 4 小学校と幼稚園の併願を考えていますが、申請できない特例はありますか？

A 小学校(中学校)の受験者が、高等学校や幼稚園と併願する場合は、特例B-2(幼稚園のみ)、B-4、特例C、特例E、特例Fの申請はできません。詳しくは、[p. 4～9](#)をご覧ください。

- Q5 4月30日まで非常勤教諭をしていた学校で、5月1日から常勤講師として働くことになりました。この場合、特例B-1④を申請することはできますか？
- A できます。「特例B-1④実績証明書」に5月1日から常勤講師として勤務を開始することを所属長に証明してもらい、提出をしてください。
- Q6 特例B-4の要件にあるトワイライトAPや部活動外部指導者など、複数の種別の活動を経験していますが、任用期間として合算できますか？また、それぞれの証明が必要ですか？
- A 特例B-4の要件にあてはまる活動の任用期間の合算はできます。ただし、重なった期間はどちらか一方で算定します。証明は種別ごとに必要です。「特例B-4実績証明書」の下の表を参照してください。複数の証明が必要な場合は、申請書を複写してご使用ください。
- Q7 特例B-4の要件にある子ども会ボランティアサークルとは、どのようなものですか？
- A 名古屋市の児童館に「区子ども会ボランティアサークル」（昭和区及び緑区については、区子ども会育成者組織に属するボランティアサークル）として登録されている団体となります。名古屋市のHPに一覧が掲載されていますので、ご覧ください。
- Q8 令和7年4月25日から令和7年7月4日まで非常勤教諭をしましたが、この期間の任用月数をどのように算定すればよいですか？
- A 任用期間がその月に1日でもあれば、1か月分と算定します。この場合は、4か月です。
- Q9 50歳以上ですが、受験をすることはできますか？
- A 50歳以上の場合は、特例B-1①～⑥、特例D-1、特例D-2を申請して認められれば、令和9年4月1日時点で、60歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた人）まで受験が可能です。
- Q10 特例A-2、特例B-1②、特例B-1③、特例B-1④、特例B-1⑥、特例B-3、特例B-4の特例内容が成績に加点するとありますが、加点は何点ですか？
- A それぞれの科目の平均点を基にして、一定の割合分を加点します。
- Q11 特例A-2、特例B-3、特例B-4のうち、複数の特例を申請して認められた場合、加点はどのようにになりますか？
- A それぞれの申請に対して、認められた分が加点されます。
- Q12 令和8年度に特例Gが認められて、2次試験で不合格だった場合、令和9年度も特例Gは申請できますか？
- A 申請できません。令和7年度実施の選考試験で1次試験を受験し、2次試験受験対象となった場合、令和8年度実施の選考試験では特例Gを申請できますが、令和9年度実施の選考試験では申請できません。
- Q13 特例Gが認められた場合も、1次試験を受験することはできますか？
- A 特例Gが認められた人は、1次試験を受験することはできません。特例Gを申請して、特例が適用された人は、令和7年度実施の1次試験と令和8年度実施の2次試験の結果並びに提出書類を総合して最終選考します。
- Q14 昨年度、大学3年生等を対象とした選考試験で特例B-3を申請し、「なごや教職インターンシップ活動記録票」の原本を提出しました。今年度も特例B-3を申請したいのですが、活動記録票が手元にありません。どうしたらよいですか？
- A 今年度の特例B-3実績証明書の上部（点線より上）に必要事項を記入するとともに、「活動歴」欄の下の□に昨年度の選考番号を記入して提出することで、今年度の申請となります。
- Q15 令和6年度実施の採用選考試験において、大学院在学及び進学者への特別措置（特例C）が認められました。通知書には「2次試験の個人面接のみで選考試験を実施」とありますが、「個人面接」とは「個人面接1」「個人面接2」の両方を受験するということですか？
- A 「個人面接1」「個人面接2」の両方を受験することになります。

<採用試験・提出物について>

- Q1 特別支援学校を受験したいのですが、特別支援学校の教諭免許が必要ですか？
- A 必要です。特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状も必要です。
- Q2 現在免許がなく、文部科学省が実施する資格認定試験を受験しますが、採用試験は受けることができますか？
- A できます。ただし、免許が取得できなかった場合は、合格しても採用されません。

- Q 3 通信教育により免許を取得中ですが、免許取得見込証明書が発行されません。どうしたらよいですか？
- A 単位取得（見込）証明書を用意してください。それも発行されない場合は、在籍証明書若しくは通信教育でどの単位を取得しているか分かるもの（カリキュラム等）を用意してください。
- Q 4 通信教育で免許を取得しましたが、卒業証明書は発行されません。どうしたらよいですか？
- A 修了証を用意してください。それも発行されない場合は、単位取得証明書を用意してください。
- Q 5 障害者特別選考試験の特徴は何ですか？
- A 1次試験の「総合教養」を受験する必要がありません。特例も申請できます。また、2次試験の「個人面接1」「個人面接2」に加え、採用した場合の配慮事項等の聞き取りを、2次試験当日に別途行います。
- Q 6 申込の際などに健康診断書の提出は必要ありますか？
- A 提出の必要はありません。合格者及び補欠者には、指定された日時・会場にて名古屋市教育委員会が実施する採用時健康診断を受けていただきます。
- Q 7 職歴がたくさんあるため、自己アピールシートの学歴・職歴欄が不足する場合はどうしたらよいですか？
- A 1つの枠を2つに分割して記入してください。それでも不足する場合は、自己アピールシートの裏面をコピーのうえ、足りない分の学歴・職歴を記載し、添付してください。必ず中央下に、（1／2）のように（頁／総頁）を記入してください。（のり付けは不要です。）
- Q 8 昨年度、大学3年生等を対象とした選考試験を受験し、2次試験受験対象者となりました。1年間で努力したことがあり、自己アピールシートを修正したいと思っておりますが、どうしたらよいですか？
- A 再度、全員に自己アピールシートを提出していただきます。詳しくは、[p.12](#)をご覧ください。
- Q 9 昨年度、大学3年生等を対象とした選考試験を受験し、第1希望の小学校、第2希望の中学校（国語）の両方で2次試験受験対象者となりました。今年度の選考試験で、第1希望を中学校（国語）、第2希望を小学校に変更することはできますか？
- A できません。希望の順番を含め、選考区分・教科を変更する場合は、1次試験から受け直すことになります。
- Q 10 昨年度、大学3年生等を対象とした選考試験を受験し、2次試験受験対象者となりました。今年度の選考番号は、昨年度と同じですか？
- A 6月1日（月）以降に交付される受験票で、今年度の選考番号を確認してください。

<大学3年生等を対象とした選考試験について>

- Q 1 大学3年生等でも、特例を申請することはできますか？
- A 要件を満たしていれば、特例を申請することが可能です。ただし、必要書類を提出できない場合は申請できません。
- Q 2 令和8年度実施の選考試験で、小学校と中学校（美術）で受験をして、小学校と中学校の2次試験受験対象者となりました。もし、令和9年度実施の選考試験で、高等学校の美術が採用予定の教科となった場合は、小学校と中学校（美術）の2次試験と高等学校（美術）の1次試験を受験することはできますか？
- A できません。大学3年生等を対象とした選考試験は、令和8年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科を、令和9年度実施の採用選考試験の2次試験で受験することになります。高等学校（美術）を受験する場合は、1次試験から受け直すことになります。
- Q 3 令和8年度実施の選考試験で、中学校と高等学校で受験をして、中学校と高等学校の2次試験受験対象者となりました。もし、令和9年度実施の選考試験で、高等学校が採用予定の教科とならなかった場合、中学校の2次試験は受験できますか？
- A できます。併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。ただし、新たに別の選考区分・教科を受験することはできません。令和8年度実施の採用選考試験と異なる選考区分・教科を受験する場合は、1次試験から受け直すことになります。
- Q 4 令和7年度の2次試験で不合格になり、大学院に進学をしました。今年度、大学院1年生のため大学3年生等を対象とした選考試験を受験しようと思っておりますが、特例Gを申請することはできますか？
- A 大学3年生等を対象とした選考試験では、特例Gは申請できません。（[p.9参照](#)）

令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用 障害者特別選考試験について

名古屋市教育委員会



申込受付期間

令和8年4月13日（月）から令和8年5月1日（金）まで

- この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
- インターネット申込の方法 → [p.10](#)へ
- インターネット申込ができない方 → [p.11](#)へ

試験日程

1次試験 令和8年6月13日（土）

2次試験 令和8年7月18日（土）・19日（日）

名古屋市公立学校教員採用選考試験・大学3年生等を対象とした選考試験等

- 「名古屋市公立学校教員採用選考試験」 → 別資料により実施 [p.1～14](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした選考試験」 → 別資料により実施 [p.21～23](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.24～26](#)へ

・試験日程や会場については、志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

○この障害者特別選考試験は、障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、障害者の方を対象として、その雇用の促進を図ることを目的として行うものです。

2 基礎資格

○次の全てに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条各号及び学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）第2条第8項に該当しないこと。（特定性犯罪前科がないこと。）
- (3) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であること。
 - ・特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であり、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有又は令和9年3月31日までに取得見込であること。
- (4) 50歳未満（昭和52年4月2日以降に生まれた人）であること。
 - ・特例B-1①～⑥、D-1、D-2（[p.6](#)・[8](#)参照）に該当する人は、60歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた人）であること。
- (5) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていること。

3 選 考

(1) 選考区分・採用予定人員

選考区分	教 科	採用予定人員
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、保健体育、家庭、英語 工業（電気・情報系、機械・自動車系、デザイン系）、商業 その他欠員が生じた教科	約10人
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
③ 小学校教員		
④ 幼稚園教員		
⑤ 特別支援学校教員		
⑥ 養護教員		
⑦ 栄養教員		

○採用予定人員は、現時点での目安であり、今後検討の結果変わることがあります。

○所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。

（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、[p.11「6\(3\) 試験日程・内容」](#)及び、[p.27「併願できる組み合わせ」](#)にてご確認ください。）

○「② 中学校教員、③ 小学校教員、⑤ 特別支援学校教員」に合格した人の中から、特別支援学級担当教員に採用されることもあります。

○高等学校教員のうち、募集がない教科（音楽・美術）において欠員が生じたときは、中学校教員に合格した人で申込時に「高等学校で欠員が生じた教科の希望」を「有」にした人の中から若干名を選考し、採用することもあります。

○本務教諭で、本市への採用希望者は、本採用選考試験を受験してください。（試験の一部免除があります。詳しくは、[p.7「4 試験の特例について」](#)の「[特例B-2](#)」を参照してください。）

○日本国籍を有しない人は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。

・選考試験の実施にあたり、障害の種類や程度に応じた配慮をします。配慮を希望する人は、申込時に「受験に際しての配慮希望事項」に具体的な配慮事項を入力してください。

過去に実施した配慮の例

○点字による筆記試験 ○手話による口述試験や試験監督の指示 ○試験会場や座席位置の配慮

(2) 選考方法

選考区分	選 考 方 法			
	1 次 試 験	2 次 試 験		
① 高等学校教員	共通 ○小論文	共通 ○口述 (個人面接1) (個人面接2) ※個人面接2では、模擬指導を行う	○実技 保健体育、家庭、英語	
② 中学校教員			○専門「教科」	○実技 音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員			○専門「教科」	
④ 幼稚園教員			○専門「小学校全科」	
⑤ 特別支援学校教員			○専門「幼稚園教育」	○幼稚園実技
⑥ 養護教員			○専門「特別支援教育」	○養護に関する実技
⑦ 栄養教員			○専門「養護」	
	○専門「栄養」			

・1次試験の「総合教養」は、ありません。

4 試験の特例について

○[p.4～9「4 試験の特例について」](#)と同じ

5 申込手続		
○ p.10～11「5 申込手続」 と同じ ・申込後に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のコピーの提出が必要です。		
6 1次試験の期日、会場及び内容		
(1) 期 日		
令和8年6月13日(土)		
(2) 会 場		
中京大学名古屋キャンパス(名古屋市昭和区八事本町101-2)		
(3) 試験日程・内容 ※中学校、高等学校の同一教科の専門「教科」は共通です。		
	内 容	対 象
8:20～9:00	受 付	全 員
9:05～9:25	受験上の注意、書類提出	全 員
9:40～10:30	小 論 文	全 員
10:50～11:30	待 機	
11:50～12:50	専門「小学校全科」	小 学 校
	専 門 「 教 科 」	高等学校(地理・歴史、工業、商業)、 特別支援学校、養護教員、栄養教員
12:50～13:40	昼 食	
13:40～14:40	専 門 「 教 科 」	幼稚園、中学校、 高等学校(地理・歴史、工業、商業を除く)
(4) 1次試験日(6月13日)に提出するもの (5) 1次試験の選考結果通知について (6) その他		
○ p.12「6 1次試験の期日、会場及び内容」 の(4)(5)(6)と同じ		
7 2次試験について		
○2次試験受験対象となった人に実施します。		
期 日	内 容	対 象 区 分(教 科)
7月18日(土)	口述(個人面接1・個人面接2)	全 選 考 区 分
	「音楽実技」	中学校教員(音楽)
	「美術実技」	中学校教員(美術)
	「保健体育実技」	中学校・高等学校教員(保健体育)
7月19日(日)	「技術実技」	中学校教員(技術)
	「家庭実技」	中学校・高等学校教員(家庭)
	「英語実技」	中学校・高等学校教員(英語)
	「幼稚園実技」	幼 稚 園 教 員
	「養護に関する実技」	養 護 教 員
・2次試験の「個人面接1」「個人面接2」に加え、採用した際の配慮事項等の聞き取りを、2次試験当日に別途行います。		
8 選考結果通知等		
○ p.13「8 選考結果通知等」 と同じ ・ただし、「(3) 選考結果の情報提供について」において、「総合教養試験の得点」はありません。 ○採用された場合、公共交通機関による通勤が著しく困難な場合には、自家用自動車などの公共交通機関以外(各自で確保)による通勤も可能です。		
9 実技試験(2次試験で実施)		
○ p.14「9 実技試験(2次試験で実施)」 と同じ		
10 その他		
○申込に際しては、 p.15～17「教員採用選考試験Q&A」 を参考にしてください。		

令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした選考試験について



名古屋市教育委員会

○大学3年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の1年前の年次をいいます。
いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含みません。

申込受付期間

令和8年4月13日（月）から令和8年5月1日（金）まで

- この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
- インターネット申込の方法 → [p.10](#)へ
- インターネット申込ができない方 → [p.11](#)へ

試験日程

1次試験 令和8年6月13日（土）

名古屋市公立学校教員採用選考試験・障害者特別選考試験等

- 「名古屋市公立学校教員採用選考試験」 → 別資料により実施 [p.1～14](#)へ
- 「障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.18～20](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.24～26](#)へ

・試験日程や会場については、志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

○この選考試験は、令和10年度の名古屋市公立学校教員の採用にあたり、専門的な知識と幅広い教養を有し、教育に対する情熱と使命感をもち、健康な体と豊かな人間性を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を選考する資料とするために実施するものです。

2 基礎資格

- 令和10年4月に名古屋市の教員として採用を希望する大学3年生等で、次の全てに該当する人に限ります。
- (1) 地方公務員法第16条各号及び学校教育法第9条各号に該当しないこと。
 - (2) こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）第2条第8項に該当しないこと。（特定性犯罪前科がないこと。）
 - (3) 令和10年3月31日までに卒業・修了する見込であること。
 - (4) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であること。
 - ・特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であり、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であること。
 - (5) 昭和53年4月2日以降に生まれた人（令和9年度に50歳未満）であること。

3 選 考

(1) 選考区分

選考区分	教科
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、保健体育、家庭、英語 工業（電気・情報系、機械・自動車系、デザイン系）、商業 その他欠員が生じた教科
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- 大学3年生等を対象とした選考試験は、1次試験のみを実施します。1次選考の結果、2次試験受験対象となった人は、令和9年度実施の採用選考試験の2次試験からの受験となります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、[p.11「6\(3\) 試験日程・内容」](#)及び [p.27「併願できる組み合わせ」](#)にてご確認ください。）
- 令和8年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和9年度実施の採用選考試験に採用予定がない場合は、2次試験を受験できません。ただし、併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。

(2) 選考方法

選考区分	選考方法	
	1次試験	
① 高等学校教員	共通 <input type="radio"/> 小論文 <input type="radio"/> 総合教養	<input type="radio"/> 専門「教科」
② 中学校教員		<input type="radio"/> 専門「教科」
③ 小学校教員		<input type="radio"/> 専門「小学校全科」
④ 幼稚園教員		<input type="radio"/> 専門「幼稚園教育」
⑤ 特別支援学校教員		<input type="radio"/> 専門「特別支援教育」
⑥ 養護教員		<input type="radio"/> 専門「養護」
⑦ 栄養教員		<input type="radio"/> 専門「栄養」

4 試験の特例について

- [p.4～9「4 試験の特例について」](#)と同じ
 - ・特例B-3を申請した場合、大学4年生又は大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度にも申請することができます。
 - ・大学3年生等を対象とした選考試験では、特例Gは申請できません。

5 申込手続

- [p.10～11「5 申込手続」](#)と同じ

6 1次試験の期日、会場及び内容

- (1) 期 日 (2) 会 場 (3) 試験日程・内容

- [p.11「6 1次試験の期日、会場及び内容」](#)の(1)(2)(3)と同じ

(4) 1次試験日(6月13日)に提出するもの・詳しくは [p.15~17](#) の「**教員採用選考試験Q&A**」を確認

①自己アピールシート

- ・名古屋市公式ウェブサイト ([p.30 参照](#)) から印刷 (A4判縦:両面印刷) してください。選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。

②免許状証明書

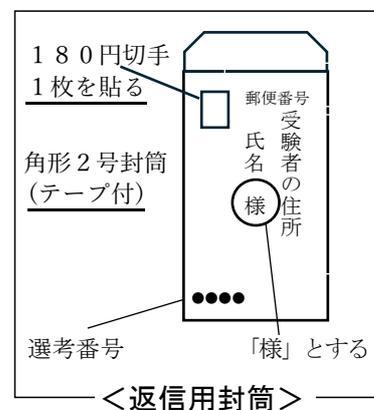
- ア 原本の写し (白黒コピーしたもの※カラーコピー不可)
- イ 授与証明書の原本 (免許状を発行した教育委員会の証明書)
- ウ 取得見込証明書の原本 (大学が発行するもの) のいずれか。
- ・ 免許状証明書が提出できない場合は、在学証明書の原本を提出してください。
- ・ 免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写 (コピーしたもの) を添付してください。

③大学及び大学院の卒業・修了 (見込) 証明書の原本

- ・ 卒業・修了見込証明書が提出できない場合は、在学証明書の原本を提出してください。
- ・ 二つ以上の大学、又は学部にあたる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了 (見込) 証明書が必要です。
- ・ 「学位記」は不可ですので、ご注意ください。

④返信用封筒

- ・ 宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、180円の郵便切手を貼った角形2号封筒 (332×240mm、テープ付)
- ・ 宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。
(住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所)
- ・ 選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考や採用関係事務以外の目的で使用しません。
- ・ 改姓の場合や勤務先、住所、電話番号など報告事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。



(5) 1次試験の選考結果通知について (6) その他

○ [p.12](#) 「[6 1次試験の期日、会場及び内容](#)」の(5) (6)と同じ

7 選考結果通知等

(1) 選考方法と選考結果の通知について

○ 1次試験の結果及び提出書類を総合して選考をします。受験者全員に令和8年7月中旬に選考結果を通知 (郵送) します。なお、名古屋市公式ウェブサイト ([p.30 参照](#)) でも発表します。

(2) 選考結果の情報提供について

○ 1次試験で不合格となった人全員に、次の選考結果情報を提供します。
・ 「内容別評定」「総合教養試験の得点」「専門試験の得点」

(3) その他

○ 選考結果の通知前の問合せには、応じられません。
○ 申告時に報告した内容から変更があった場合は、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。報告すべき内容に漏れがあったり、報告内容に虚偽があったりした場合等は、本市採用選考試験の受験及び選考結果を無効とします。

8 その他

○ 出願に際しては、[p.15~17](#) 「[教員採用選考試験Q&A](#)」を参考にしてください。
○ 2次試験受験対象者については、令和9年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験の2次試験からの受験となりますが、改めて令和9年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験に、2次試験受験対象となった選考区分・教科で出願する必要があります。

令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験について



名古屋市教育委員会

○大学3年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の1年前の年次をいいます。
いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含みません。

申込受付期間

令和8年4月13日（月）から令和8年5月1日（金）まで

- この期間中の申込完了分有効（インターネット申込）
- インターネット申込の方法 → [p.10](#)へ
- インターネット申込ができない方 → [p.11](#)へ

試験日程

1次試験 令和8年6月13日（土）

名古屋市公立学校教員採用選考試験・障害者特別選考試験等

- 「名古屋市公立学校教員採用選考試験」 → 別資料により実施 [p.1～14](#)へ
- 「障害者特別選考試験」 → 別資料により実施 [p.18～20](#)へ
- 「大学3年生等を対象とした選考試験」 → 別資料により実施 [p.21～23](#)へ

・試験日程や会場については、志願者数などの関係により一部変更する場合があります。

1 趣 旨

○この大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験は、障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、障害者の方を対象として、その雇用の促進を図ることを目的として行うものです。

2 基礎資格

- 令和10年4月に名古屋市の教員として採用を希望する大学3年生等で、次の全てに該当する人に限ります。
 - (1) 地方公務員法第16条各号及び学校教育法第9条各号に該当しないこと。
 - (2) 子ども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）第2条第8項に該当しないこと。（特定性犯罪前科がないこと。）
 - (3) 令和10年3月31日までに卒業・修了する見込であること。
 - (4) 選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であること。
 - ・特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であり、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有又は令和10年3月31日までに取得見込であること。
 - (5) 昭和53年4月2日以降に生まれた人（令和9年度に50歳未満）であること。
 - (6) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていること。

3 選 考

(1) 選考区分

選考区分	教科
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、保健体育、家庭、英語 工業（電気・情報系、機械・自動車系、デザイン系）、商業 その他欠員が生じた教科
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- 大学3年生等を対象とした選考試験は、1次試験のみを実施します。1次選考の結果、2次試験受験対象となった人は、令和9年度実施の採用選考試験の2次試験からの受験となります。
- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、[p.20「6\(3\) 試験日程・内容」](#)及び[p.27「併願できる組み合わせ」](#)にてご確認ください。）
- 令和8年度実施の採用選考試験で2次試験受験対象となった選考区分・教科において、令和9年度実施の採用選考試験に採用予定がない場合は、2次試験を受験できません。ただし、併願して2次試験受験対象となったもう一方の選考区分・教科は、受験することができます。
- 選考試験の実施にあたり、障害の種類や程度に応じた配慮をします。配慮を希望する人は、申込時に「受験に際しての配慮希望事項」に具体的な配慮事項を入力してください。

過去に実施した配慮の例

- 点字による筆記試験
- 手話による口述試験や試験監督の指示
- 試験会場や座席位置の配慮

(2) 選考方法

選考区分	選考方法	
	1次試験	
① 高等学校教員	共通 ○小論文	○専門「教科」
② 中学校教員		○専門「教科」
③ 小学校教員		○専門「小学校全科」
④ 幼稚園教員		○専門「幼稚園教育」
⑤ 特別支援学校教員		○専門「特別支援教育」
⑥ 養護教員		○専門「養護」
⑦ 栄養教員		○専門「栄養」

・1次試験の「総合教養」は、ありません。

4 試験の特例について

- [p.4～9「4 試験の特例について」](#)と同じ
- ・特例B-3を申請した場合、大学4年生又は大学・大学院の卒業・修了年度の翌年度にも申請することができます。
- ・大学3年生等を対象とした選考試験では、特例Gは申請できません。

5 申込手続

- [p.10～11「5 申込手続」](#)と同じ
- ・申込後に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のコピーの提出が必要です。

6 1次試験の期日、会場及び内容

(1) 期日 (2) 会場 (3) 試験日程・内容

○p.20「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(1)(2)(3)と同じ

(4) 1次試験日(6月13日)に提出するもの・詳しくはp.15~17の「教員採用選考試験Q&A」を確認

①自己アピールシート

- ・名古屋市公式ウェブサイト(p.30参照)から印刷(A4判縦:両面印刷)してください。
選考番号、氏名など必要事項を記入のうえ、受験票に貼付する写真と同じ写真を貼付してください。

②免許状証明書

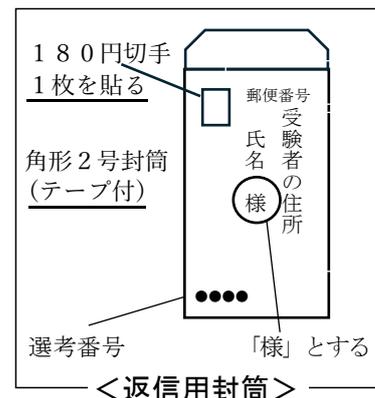
- ア 原本の写し(白黒コピーしたもの※カラーコピー不可)
- イ 授与証明書の原本(免許状を発行した教育委員会の証明書)
- ウ 取得見込証明書の原本(大学が発行するもの) のいずれか。
- ・免許状証明書が提出できない場合は、在学証明書の原本を提出してください。
- ・免許状の有効期間の延長をした人は「免許状の修了確認期限」を証明するものの写(コピーしたもの)を添付してください。

③大学及び大学院の卒業・修了(見込)証明書の原本

- ・卒業・修了見込証明書が提出できない場合は、在学証明書の原本を提出してください。
- ・二つ以上の大学、又は学部にとわる場合や、大学卒業後、大学院や通信制大学に進学された人は、それぞれの卒業・修了(見込)証明書が必要です。
- ・「学位記」は不可ですので、ご注意ください。

④返信用封筒

- ・宛先・郵便番号・氏名・選考番号を明記し、180円の郵便切手を貼った角形2号封筒(332×240mm、テープ付)
- ・宛先はインターネット申込で入力した住所と同じにしてください。
(住所変更した場合は、教育委員会に届け出た住所)
- ・選考にあたって提出した書類は一切返却しません。また、選考や採用関係事務以外の目的で使用しません。
- ・改姓の場合や勤務先、住所、電話番号など報告事項に変更が生じたときは、必ず文書ですみやかに教育委員会に届け出てください。



(5) 1次試験の選考結果通知について (6) その他

○p.12「6 1次試験の期日、会場及び内容」の(5)(6)と同じ

7 選考結果通知等

○p.23「7 選考結果通知等」と同じ

- ・ただし、「(2) 選考結果の情報提供について」において、「総合教養試験の得点」はありません。

8 その他

- 出願に際しては、p.15~17「教員採用選考試験Q&A」を参考にしてください。
- 2次試験受験対象者については、令和9年度実施の名古屋市公立学校教員採用選考試験の2次試験からの受験となりますが、改めて令和9年度実施の名古屋市公立学校教員採用障害者特別選考試験に、2次試験受験対象となった選考区分・教科で出願する必要があります。

応募上の参考資料

- 名古屋市公立学校教員採用選考試験
- 名古屋市公立学校教員採用 障害者特別選考試験
- 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした選考試験
- 名古屋市公立学校教員採用 大学3年生等を対象とした障害者特別選考試験

○併願できる組み合わせ

○：併願可能 ×：併願不可能 △：併願一部可能

第 1 希 望	第 2 希 望				
	小	中 〔国社数理音 美体技家英〕	高 〔国数理体家英〕	高 〔地歴工商〕	幼
小		○	○	×	○
中〔国社数理音 美体技家英〕	○		△※	○	×
高〔国数理体家英〕	○	△※		○	×
高〔地歴工商〕	×	○	○		○
幼	○	×	×	○	

※ 第1希望と第2希望の教科が同一の場合のみ併願できます。教科が異なる場合は併願できません。

(例) 第1希望：高〔数学〕と第2希望：中〔英語〕の併願はできません。

○令和7年度実施 採用選考試験の結果

区 分	受験者数	合格者数	補欠者数
小学校	579	174	13
中学校・高等学校 国語	65	28	3
中学校 社会	97	21	1
中学校・高等学校 数学	72	16	1
中学校・高等学校 理科	62	31	4
中学校 音楽	32	6	
中学校 美術	16	5	
中学校・高等学校 保健体育	151	16	
中学校 技術	8	5	
中学校 家庭	13	2	
中学校・高等学校 英語	77	38	
高等学校 地理・歴史	29	5	
高等学校 工業	6	2	
高等学校 商業	12	5	
特別支援学校	77	50	
幼稚園	22	5	
養護教員	110	10	
栄養教員	32	1	
合 計	1460	420	22

・ 障害者特別選考の結果を含む

・ 令和7年度実施秋選考の結果を含まない

○採用までの流れ

受付	受験票交付 特例結果通知	1次 試験	1次試験 結果通知	2次 試験	選考 結果通知	採用 手続	採用時 健康診断	※新任 教員応援 セミナー	赴任校 内定	辞令 交付
4 月 13 日 ～ 5 月 1 日	6 月 1 日 以降	6 月 13 日	7 月 中 旬	7 月 18 日 ・ 19 日	8 月 下 旬	9 月 中 旬	1 月 以 降		3 月 以 降	4 月 1 日

※採用前研修

○勤務条件（令和8年1月現在）

給 与（給料月額、給料の調整額、教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当）

○新規卒業者の初任給

勤務先校種	最終学歴		
	短大卒	大学卒	修士課程修了
幼稚園	284,343 円	306,549 円	318,848 円
小・中学校	291,309 円	314,331 円	339,143 円
小・中学校 特別支援学級担当	302,309 円	325,331 円	350,143 円
高等学校		314,331 円	339,143 円
特別支援学校	304,273 円	327,734 円	352,546 円

- ・この他に、諸手当として、通勤手当、扶養手当、期末・勤勉手当等があります。
- ・上記の他、職歴がある人の初任給例を名古屋市公式ウェブサイトに掲載しています。



勤務時間

- 小学校・中学校・特別支援学校の勤務時間は、原則として午前8時15分から午後4時45分です。
幼稚園・高等学校の勤務時間は、原則として午前8時30分から午後5時00分です。

休 暇

- 年次休暇は、年間20日です。
○その他、条例に定められた休暇があります。

研修の機会

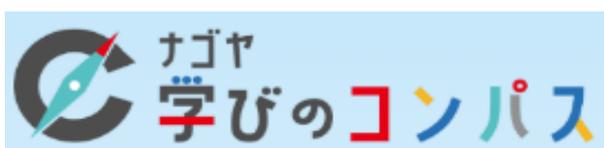
- 初任者研修会 ○2・3年目フォローアップ研修 ○4・5年目教師力パワーアップ研修
○アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座 ○教科等研修講座 ○課題別研修講座
○教育研究員 等の研修の機会があります。

○令和8年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験の選考区分

選考区分	教科
① 高等学校教員	国語、地理・歴史、数学、理科、保健体育、家庭、英語 工業（電気・情報系、機械・自動車系、デザイン系）、商業 その他欠員が生じた教科
② 中学校教員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
③ 小学校教員	
④ 幼稚園教員	
⑤ 特別支援学校教員	
⑥ 養護教員	
⑦ 栄養教員	

- ・小学校・中学校合格者の中から特別支援学級担当教員を配置します。
- ・小学校合格者の中から小学校英語専科教員を配置します。
- ・中学校の合格者は、夜間中学校での勤務となることもあります。

- 所有免許状（取得見込を含む）に応じ、選考区分①～④の校種のうち、2校種まで併願ができます。（同一時間帯に試験が行われるなど、組み合わせによっては併願できないこともあります。詳しくは、[p. 11「6 \(3\) 試験日程・内容」](#)及び、[p. 27「併願できる組み合わせ」](#)にてご確認ください。）
- 「⑤特別支援学校教員」に合格した人の中から、特別支援学級担当教員に採用されることもあります。
- 高等学校教員のうち、募集がない教科（音楽・美術）において欠員が生じたときは、中学校教員に合格した人で申込時に「高等学校で欠員が生じた教科の希望」を「有」にした人の中から若干名を選考し、面接の上、採用することもあります。
- 本務教諭で、本市への採用希望者は、本採用選考試験を受験してください。（試験の一部免除があります。詳しくは、[p. 7「4 試験の特例について」](#)の「[特例B-2](#)」を参照してください。）
- 日本国籍を有しない人は、任用の期限を付さない常勤講師に任用します。



○採用選考試験に関する情報の配信について

○採用選考試験に関する情報は、以下のウェブサイトで配信しています。

・名古屋市公式ウェブサイト

→ 市政情報 → 職員採用・人事 → 職員採用情報・インターンシップ情報

→ 名古屋市公立学校教員採用選考試験 → 名古屋市公立学校教員採用選考試験のご案内

○令和8年度は、名古屋会場・東京会場・大阪会場で説明会を実施する予定です。

・名古屋市の教育の特色や採用試験の概要を紹介します。

・申込手続について説明します。



○名古屋市の魅力と教育の特色、名古屋市の学校を紹介した

「名古屋の学校～先生と未来に羽ばたくなごやっ子たち～」

の動画をご覧ください。



○特色ある名古屋の教育「ナゴヤ・スクール・イノベーション」

について、詳しく紹介しています。



○採用試験の中止・延期や会場変更など緊急連絡事項をお知らせする場合があります。

・採用試験に関する最新の情報は、名古屋市公式ウェブサイト（「名古屋市公立学校教員採用選考試験のご案内」のページ）でお知らせしますので、試験日直前まで必ずご確認のうえ、受験していただきますようお願いいたします。

○過去4年分の「総合教養」「専門」の問題及び解答例、「小論文」の問題、「口述」の課題を、名古屋市役所西庁舎1階「市民情報センター（TEL. 052-972-3157）」で閲覧できます。

（コピーも可）ただし、郵送の希望には応じられません。

○連絡やお問合せは、下記の連絡先まで直接電話又は郵送でお願いします。

名古屋市教育委員会 教職員研修・採用課（教員採用担当）

〒456-0031

名古屋市熱田区神宮三丁目6-14(名古屋市教育センター内)

TEL 052-683-6410

※名古屋市公立学校教員採用選考試験は、愛知県公立学校教員採用選考試験とは別に行っております。